

# 各会派による政務調査報告

町議会では、議員活動の資質向上をねらいとし、各会派において、他自治体の取り組み実態を視察調査しながら研鑽に努めています。

## 議会改革と運営について視察 新政21・清風会・みらい研伊奈

3会派合同

去る1月27日・28日の両日3会派9名は議会改革を進めている神奈川県葉山町の視察研修を行いました。

議員定数18名で、議会運営委員会で改革を議論する日を定め、改革項目を討議、できることから試しながら、現在24項目を実施してきています。

三常任委員会を2つにすることや予算及び決算を特別委員会で、5日間集中審議をする等の特徴があり、伊奈町議会にも参考にすべき点を多々学びました。

なお、議員報酬が40万円であるのに驚きました。



## 小学校建設開校後における 運営課題

公明党・緑の会・民主党

3会派合同

3会派は去る2月7・8日、静岡県裾野市を訪問し、小学校分離新設開校における運営課題について研修視察を行いました。

人口は5万3千6百人で面積は当町の10倍ほどあり、工業地として発展し、人口が増加し学校分離が行われます。

開校は当町と同じ平成18年4月。

視察では、学校施設の地域との関わり、開放の取り組みや、分離での諸問題、また、分離後の学級編制等について活発に質疑応答し、当町において大変参考になる有意義な視察ができました。

## 住民と力を合わせて「ごみの 分別・減量化に成功

日本共産党

〜埼玉県・大井町〜

大井町では、以前に焼却炉が老朽化して、新たな炉の建設が浮上しましたが、100億円を越す費用が必要であることがわかりました。そこで、住民参加の「新炉建設委員会」が作られ、「ごみを分別、資源化して焼却炉をより小さいものにする」という方向が選択され、財政的にも負担の少ない小型炉が建設されました。そして、住民合意のごみ減量化作戦が始まりました。

転入時に分別の仕方をわかりやすく住民に説明するなどの町の姿勢が大変特徴的でした。

